

大学番号：国064

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

事前伺い

岡山大学大学院 自然科学研究科  
地球惑星物質科学専攻（博士課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務・企画部総務課

職名・氏名 主査 本城直樹

電話番号 086-251-7015

（夜間） 086-251-7015

F A X 086-251-7294

e-mail ss7015@adm.okayama-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
4	既設大学等の状況	10
5	教員組織の状況	12
7	その他全般的事項	15

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻 (博士課程) 博士(理学) 又は 博士(学術)	5年	4人	20人	基礎となる学部等 地球物質科学研究センター

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4 ( - ) [ - ]	人	4 ( - ) [ - ]	人	4 ( - ) [ - ]	人	4 ( - ) [ - ]	人	( ) [ ]	人	0.81 倍	
志願者数	4 ( - ) [ 3 ]	4 ( - ) [ 4 ]	0 ( - ) [ - ]	2 ( - ) [ 2 ]	2 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	3 ( - ) [ 3 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	4 ( - ) [ 3 ]	4 ( - ) [ 4 ]	0 ( - ) [ - ]	2 ( - ) [ 2 ]	2 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	3 ( - ) [ 3 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	4 ( - ) [ 3 ]	3 ( - ) [ 3 ]	0 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	2 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	3 ( - ) [ 3 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	4 ( - ) [ 3 ]	3 ( - ) [ 3 ]	0 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	2 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	3 ( - ) [ 3 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.75		0.25		0.50		0.75					

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 2	[ 3 ] 3	[ - ] -	[ 1 ] 1	[ 2 ] 2	[ - ] -	[ 3 ] 3	[ - ] -	/		
2年次	/		[ 1 ] 1	[ 1 ] 1	[ - ] -	[ 1 ] 1	[ 2 ] 2	[ 1 ] 1			
3年次			/		[ 1 ] 1	[ 1 ] 1	[ - ] -	[ 1 ] 1			
4年次					/		[ - ] -	[ - ] -			
5年次							/				/
計			[ 5 ] 5	[ 3 ] 3	[ 5 ] 5	[ 7 ] 7			[ ]		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成21年度入学者	7人	6人	平成21年度	2人	1人	家庭の事情(1人) 他の教育機関への入学(1人)	0.8571429 %
			平成22年度	3人	3人	家庭の事情(1人), 除籍(1人) その他(進路再考)(1人)	
			平成23年度	0人	0人		
			平成24年度	1人	1人	除籍(1人)	
			平成25年度	人	人		
平成22年度入学者	1人	0人	平成22年度	0人	0人		0 %
			平成23年度	0人	0人		
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度入学者	2人	0人	平成23年度	0人	0人		0 %
			平成24年度	0人	0人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度入学者	3人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合計	13人	6人					0.4615385 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分析地球惑星化学講座	分析地球惑星化学ゼミナール	1~2通年	8				5 6 8 5 6 8			3		
	分析地球惑星化学特別研究	1~2通年	10			2	5 5 6 8			3	担当教員の職位変更 助教から准教授へ 平成21年3月学内教員審査済(21)	
	分析地球惑星化学演習I	1通年	2			2	5 5 6 8			3	H22. 1.15実験地球惑星物理学講座教授退職による担当教員の変更(22)	
	分析地球惑星化学演習II	2通年	2			2	5 5 6 8			3	H23. 2.1准教授1名の自然科学研究科先端基礎科学専攻への異動による担当教員の変更(23)	
	分析地球惑星化学演習III	3通年	2			2	5			3		
	基礎分析地球惑星化学	1・2・3前期		2			1					
	安定同位体宇宙化学	1・2・3前期		2			1					
	ケミカルジオダイナミクス	1・2・3前期		2			1					
	地球惑星物質年代学	1・2・3前期		2			1					
		未開講									0	
	地球惑星起源物質化学	1・2・3前期		2							4	
	揮発性物質地球惑星化学	1・2・3前期		2							4	カリキュラムの見直しによる講義科目の移動(分析地球惑星化学講座→実験地球惑星物理学講座)(22)
	チノスケール鉱物学	1・2・3前期		2							4	
	マントル地球化学	1・2・3後期		2							1	カリキュラムの見直しによる講義科目の追加(22)
地球惑星地質学	1・2・3後期		2							1		
地球惑星物質進化解析学	1・2・3後期		2							1		
実験地球惑星物理学講座	実験地球惑星物理学ゼミナール	1~2通年	8				7 8 2 6 7					
	実験地球惑星物理学特別研究	1~2通年	10			1	8 2 6 7				H22. 1.15教授退職によりH22年度から准教授2名が担当(22)	
	実験地球惑星物理学演習I	1通年	2			2	8 6 7				H22. 11.16准教授1名退職による担当教員の変更(23)	
	実験地球惑星物理学演習II	2通年	2			2	8 6 7					
	実験地球惑星物理学演習III	3通年	2			2	8 6					

実験地球惑星物理学講座	超高圧基礎実験科学	1・2・3前期	2			1				H22. 1. 15教授退職による講義科目の廃止 (22)  平成25年度に開講を予定 (24)  H22. 11. 16准教授退職により平成24年度に教員2名による開講を予定 (23)  カリキュラム見直しによる講義科目の移動 (分析地球惑星化学講座→実験地球惑星物理学講座) (22)
	地球惑星物質物性論	1・2・3後期	2		4					
	地球惑星物質の状態方程式	1・2・3前期	2			1				
	レオロジー	1・2・3前期	2			1				
	放射光物質科学	1・2・3前期	2		1					
	地球惑星物質分光法	1・2・3前期	2			1				
	実験マグマ科学	1・2・3前期	2			1				
	未開講					0				
	揮発性物質地球惑星化学	1・2・3前期	2			4				
	ナノスケール鉱物学	1・2・3前期	2			1				
高压流体物質物性学	1・2・3後期	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
有機地球惑星科学(連携講座)	有機地球惑星科学ゼミナール	未開講 1～2通年		8							履修希望者がいなかったため(24)  履修希望者がいなかったため(23)
	有機地球惑星科学特別研究	未開講 1～2通年		10							
	有機地球惑星科学演習I	未開講 1通年		2							
	有機地球惑星科学演習II	未開講 2通年		2							
	有機地球惑星科学演習III	未開講 3通年		2							
	地球惑星有機物化学	未開講 1・2・3前期		2							
	地球惑星有機物解析学	未開講 1・2・3前期		2							
	メルト中の揮発性物質	未開講 1・2・3前期		2							
	アストロバイオロジー	未開講 1・2・3後期		2							

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	24	0	34	10	26	0	36	
				[ - ]	[ 2 ]	[ - ]	[ 2 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	地球惑星起源物質化学	2	1・2・3前期	専門	選択	当該授業科目を担当する准教授が急遽自然科学研究科先端基礎科学専攻へ異動することになったため平成23年度は未開講となった。代替措置として、平成24年度に教員2名による開講を予定している。(23) 平成23年度に教員の採用を予定していたが、適任者を採用できなかったため、平成24年度は未開講となった。平成25年度は非常勤講師等の活用も含めて開講する予定である。(24)
2	揮発性物質地球惑星化学	2	1・2・3前期	専門	選択	当該授業科目を担当する准教授が急遽退職することになったため平成23年度は未開講となった。代替措置として、平成24年度に教員2名による開講を予定している。(23) 平成23年度に教員の採用を予定していたが、適任者を採用できなかったため、平成24年度は未開講となった。平成25年度は非常勤講師等の活用も含めて開講する予定である。(24)

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	地球惑星物質物性論	2	1・2・3後期	専門	選択	当該授業科目を担当する教授が急遽退職することとなったため、科目の内容を見直し、分析地球惑星化学講座から2科目を実験地球惑星物理学講座に移すことで当該科目内容をカバーする。実験地球物理学講座に移した2科目については分析地球惑星化学講座の学生も履修することができる。(22)

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記(4)の地球惑星物質物性論については、予定していた授業科目の内容を揮発性物質地球惑星化学とナノスケール鉱物学の授業内容に加えて行う。また、それに併せて揮発性物質地球惑星化学とナノスケール鉱物学を実験地球物理学講座に移行し、実験地球物理学講座の充実を図る。分析地球惑星化学講座にあっても実験地球物理学講座に移行した2科目について学生が履修することができることとする他、教育課程の見直しを併せて行い、新たに3科目を追加することにより教育体制の充実を図る。以上の措置により教育課程は担保できる。学生への周知については、学生便覧の配布に併せて変更内容を示した文書を配布し、周知を図っている。(22)

上記(3)の地球惑星起源物質化学、揮発性物質地球惑星化学については、当該授業を担当する教員の退職等により平成23年度は未開講となった。平成24年度にそれぞれ教員2名による開講を予定している。また、今年度は未開講であるが配当年次が1・2・3年次となっているため、学生の履修への影響は無い。学生への周知については、変更内容を学生便覧に示し配布等により周知した。次年度開講科目については、次年度用学生便覧に記載し周知する予定である。(23)

上記(3)の地球惑星起源物質化学、揮発性物質地球惑星化学については、平成23年度に教員を採用し平成24年度に開講する予定であったが、適任者を採用できなかったため未開講となった。非常勤講師等の活用も含めて平成25年度に開講を予定している。また、配当年次が1・2・3年次となっているが、学生が希望すれば4・5年次においても履修可能とした。学生への周知については、次年度用学生便覧に記載し周知する予定である。(24)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{34} = 0.08$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
(2) 校 舎	専 用	m <sup>2</sup>	共 用	m <sup>2</sup>	共用する他の学校等の専用	m <sup>2</sup>	〇〇短期大学と共用
	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(補助職員 人) (補助職員 人)	
	室	室	室	室	室		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 16 室 15	
	〇〇学部 〇〇学科						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種				電子ジャーナル [うち外国書] 点
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( ) ( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( ) ( )	( )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m <sup>2</sup>						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	m <sup>2</sup>						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等 千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等 千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
文学部 人文学科	4	175	—	700	学士(文学) 学士(学術)	1.05 1.05	平成16年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
教育学部 学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程 総合教育課程	4 4 4 —	250 30 —	— — —	1120 1000 120 —	学士(教育学) 学士(学術)	1.02 1.03 0.99 —	平成11年度 昭和53年度 平成元年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より学生募集停止
法学部 法学科 昼間コース 夜間主コース 法学科 法学部第二部法学科	4 4 — 4 — —	205 20 — —	— — — —	900 820 80 — —	学士(法学) 学士(学術)	1.04 1.03 1.08 — —	平成16年度 平成16年度 昭和55年度 昭和55年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成16年度より学生募集停止 平成16年度より学生募集停止
経済学部 経済学科 昼間コース 夜間主コース 経済学科	4 4 —	205 40 —	— — —	980 820 160 —	学士(経済学) 学士(学術)	1.02 1.02 1.03 —	平成16年度 平成16年度 昭和55年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成16年度より学生募集停止
理学部 数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球科学科	4 4 4 4 4	20 35 30 30 25	3年次20	600 80 140 120 120 100	学士(理学) 学士(学術)	1.00 1.03 1.03 1.02 1.00 1.00	昭和24年度 昭和24年度 昭和24年度 昭和24年度 平成7年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
医学部 医学科 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	6 4	115 80 40 40	2年次5 3年次10 3年次5 3年次5	1342 637 320 160 160	学士(医学) 学士(保健学)	1.01 1.00 1.01 1.03 1.03	昭和24年度 平成10年度 平成10年度 平成10年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	平成21年度から定員増 95→105 平成22年度から定員増 105→112 平成23年度から定員増 112→115

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
歯学部 歯学科	6	48	3年次5	336 316	学士(歯学)	1.00 1.00	昭和55年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
薬学部 薬学科 創薬科学科	6 4	40 40	— —	400 240 160	学士(薬学) 学士(創薬科学) 学士(学術)	1.04 1.04 1.02	平成18年度 平成18年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	
工学部 機械システム系学科 電気通信系学科 情報系学科 化学生命系学科 機械工学科 物質応用化学科 電気電子工学科 情報工学科 生物機能工学科 システム工学科 通信ネットワーク工学科	4 4 4 4 — — — — — — —	160 100 60 140 — — — — — — —	3年次30	920 320 200 120 280 — — — — — — —	学士(工学) 学士(学術)	1.05 1.07 1.08 1.08 1.06 — — — — — — —	平成23年度 平成23年度 平成23年度 平成23年度 昭和62年度 平成12年度 昭和62年度 昭和62年度 平成8年度 平成8年度 平成12年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止 平成23年度より学生募集停止
環境理工学部 環境数理学科 環境デザイン工学科 環境管理工学科 環境物質工学科	4 4 4 4	20 50 40 40	— — — —	600 80 200 160 160	学士(環境理工学) 学士(学術)	1.04 1.08 1.08 1.02 1.00	平成6年度 平成6年度 平成6年度 平成6年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480 480	学士(農学) 学士(学術)	1.08 1.08	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科(A/C対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
14	4	18	0	15	0	15	0	
( 17 )	( 1 )	( 18 )	( 0 )	[ 1 ]	[ Δ4 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



## 7 その他全般的事項

<自然科学研究科 地球惑星物質科学専攻（博士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照）  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況（教員の参加状況含む）  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等	
---	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成24年5月1日 公表</li></ul> <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布</li><li>・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）</li></ul> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</li></ul>
--

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )</p> <p>b 公表予定時期 ( 平成24年 8月31日予定 )</p>
---